

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

一般選考・学内選考

研 究 科	専 攻	試 験 科 目	参考書等持込
法学研究科	法学専攻	独語 I	可

枠線内のドイツ語を日本語に訳しなさい。

Mathias Hütwohl: „Einführung in das Recht“. 2. Auflage (2022) C.H. Beck.

著作権の関係上、具体的なドイツ語の文章は過去問題上公開いたしません。
上記出典書籍を参考にしてください。

令和 8 年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	法学研究科 法学専攻
試験期別	I 期
試験区分	一般、学内選考
試験科目名	独語 I

■出題の意図

下記の諸点について受験者の力量を判定するのが、本出題の目的である。

- ・ドイツ語の読解能力がどの程度あるか。
- ・どのくらい正確に内容を読み取っているか。
- ・法律専門用語について基礎を有しているか。
- ・和訳した日本語が適切か。日本語として奇異ではないか。
- ・解答の時間配分・時間管理ができているか。

■採点のポイント

採点においては、出題したドイツ語文章の内容についての読解力と、和訳の的確さに注目する。

出題された文章において、法解釈学の手法に関する初歩的な用語を理解できているか。
独和辞典を使用して適切な訳語を発見できているか。

ドイツ語文法に従って、どのくらい適切に日本語に訳せているか。

法律学に関するドイツ語文章を和訳するにあたって、対応する日本語の法律用語をどの程度、適切に使用できているか。